

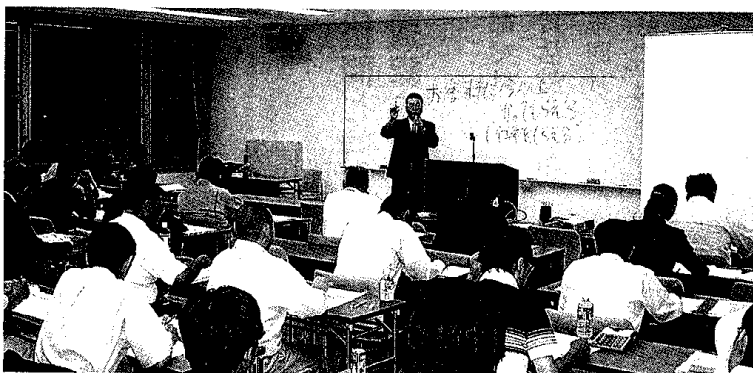
# TKC岡山県支部が 商工会議所「経営革新塾」を支援!

岡山県の岡山商工会議所が主催した「経営革新塾」(平成十八年九月一日開講、十回コース)を、TKC中国会岡山県支部が企画から講師派遣、テキスト提供や経営計画作成のための創業・経営革新アドバイザー派遣など一括で受託を受け全面的に支援しています。同支部の活動を中心にレポートいたします。

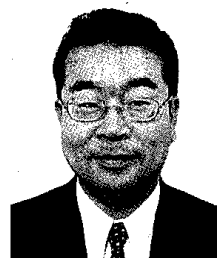
## 岡山商工会議所との連携による 経営革新支援の実績をアピール

この経営革新塾は、TKC全国会創業・経営革新支援委員会が進める商工会議所・商工会等との連携推進企画を立案する事業企画推進小委員会のプロジェクトチームによって作成された、実践ノウハウを集成した経営革新塾開催のためのパッケージ(経営革新塾テキスト『経営革新を成功させる「社長の仕事」とは』・ツール集・講師虎の巻など)を全国で最初に利用したものです。

まず、経営革新塾を行うことになった背景ですが、昨年からTKC中国会岡山県支部では、会員事務所の関与先を対象とした「経営革新無料相談会」を開催するなど、岡山商工会議所との連携を強化してきたことが挙げられます。KFS活動と併せた成果として岡山県支部では、平成十七年末で百三十三件の経営革新計画の承認に関与し、実績を飛躍的に伸ばしてきました。このことは、岡山



「経営革新塾」で熱弁をふるう馬越会員



TKC中国会岡山県支部  
創業・経営革新支援委員長  
馬越晃一  
うまこしこういち

商工会議所に対してインパクトのあるアピールになったと思います。

また、今回はTKC全国会が作成したパッケージを活用し、その特長である「最初から最後まで一環した実践実績のある専門家によるサポート体制」が実績につながる点を強調して開催提案を行いました。さらに経営革新プレセミナーによる経営革新塾参加者の掘り起こしなど、動員のための仕掛けも提示し、共同で開催することへのメリットを高めた点も評価を得られた要因だと思えます。その結果、商工会議所からは、TKC会員と是非共同で経営革新塾を開催したいとの前向きな回答をいただき、今回の開催に至りました。

受託後、岡山県支部としては、開催までの間にクリアすべき課題として次の四点を挙げ、その解決策を講じて準備を進めました。

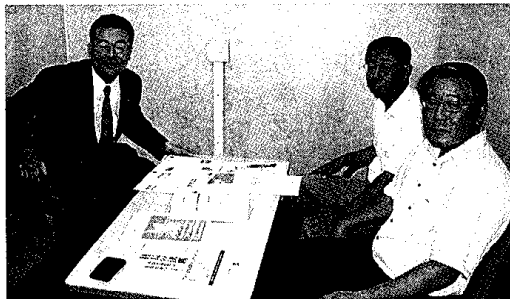
- (1) 講師団(講師・アドバイザー・アシスタント)の人員確保

↓会員事務所への参画募集と講師団の編成

同じ目的で活動する  
 専門家の実力に期待したい

岡山商工会議所  
 中小企業振興部部長 高木 広輝  
 専門指導センター課長 須々木敏彦

商工会議所は、地域に密着し中小企業の成長・発展をサポートすることが使命です。特に「経営革新」と「創業」への取り組みは重要です。岡山商工会議所では、経営革新計画の承認企業の輩出と創業予定者の発掘・育成に力を入れており、この活動が地域経済の活性化に繋がると考えています。



開講にあたり入念な打ち合わせ  
 (右から須々木課長、高木部長、馬越会員)

また「経営革新塾」「創業塾」などの取り組みにより、平成16年に4件だった

経営革新計画承認企業が、平成17年には42件と大幅に増加しました。TKC会員の皆さんには、経営革新無料相談会等を通して承認企業輩出にご協力いただきました。平成18年は50件を目標に取り組んでいます(現在16件)。創業についても、平成17年は46件、平成18年もすでに26件となっています。引き続き、「経営革新塾」「創業塾」を中心に展開し、効果的な活動となるよう対策を講じていきます。

今後は、専門家の皆さんと連携しながら、各事業を効果的に実施していくことがポイントだと考えています。中小企業を支援するという同じ目的で活動を行っているのですから相互に連携し、効果的かつ実績が挙がる仕組みが構築できるよう、TKC会員の皆さんには大いに期待しています。

- (2) 講師の品質確保と意識統一  
 ↓講師団研修の開催
  - (3) 職員アドバイザーの参画に対する所長の理解を得ること  
 ↓絶対に必要不可欠
  - (4) 受託した事業の料金の適正な分配  
 ↓講師謝金分配表によるルールの明確化
- この活動は、多くの中小企業の経営革新実現を支援することで、地域社会の活性化に貢

献できるといふ社会的意義のあるものです。さらには、創業・経営革新アドバイザーの活躍機会やレベルアップ機会の場を創出することにもなります。結果的には、活動に参画したTKC会員事務所の高い業務品質に裏付けされたサポートに経営者が触れることで、関与先拡大につながるケースもあるでしょう。今後も岡山県支部の活動として、積極的に地域に密着した商工会議所、商工会等への働きかけを行っていきたいと考えています。

第三回「経営革新塾」講義レポート

とき：平成18年9月8日(金) ところ：岡山商大会議所会議室

岡山商工会議所による第三回「経営革新塾」のテーマは「マーケティングの基礎知識」。講師は馬越晃一会員が担当した。経営革新塾の受講者は三十一名、受講者の真剣な表情からも参加意欲の高さが感じられた。その理由のひとつは、プレセミナー受講者からの申込者が多く、経営革新への挑戦を真剣に捉えているからだろう。ここでも、パッケージ提案された仕掛けが生きている。また、経営革新計画を承認する側である岡山県産業労働部経営支援課からも三名が参加されていた。

講義では、マーケティングという難しいテーマを受講者にいかに興味をもってもらい、積極的に参加していただけるか、一方的な受け身型研修にならない工夫と講師の細やかな配慮があり、参加型の熱気あふれる研修となっていた。具体的な流れは次の通り。

- (1) 講義・プロダクトアウトからマーケットインへの転換
  - (2) 実習・環境(マーケット)の変化についてのカードワーク
  - (3) 実習・カードワークを基にした自社に関する機会・脅威の発見
  - (4) 講義・マーケティングに関する考え方事例課題
  - (5) 実習・100問シート「販売機能」の自己採点
- 馬越会員は、中小企業は環境に適切できるかが一番重要であると訴え、それを受けた受講者が、自社を取り巻く環境について真剣に考える、より実践的な内容となっていた。

(TKC全国会事務局 山澤和之)

※TKC会報平成18年10月号より転載